

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人十字会

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、十字会の経営に大きな影響を及ぼしましたが、その中で福祉人材確保、継続的経営および事業の安定に努めました。

(1) 本部と施設間の連携

- ・本部で毎月管理者会議を開催し、各事業所の活動収支の再検証を行い、事業運営の継続に努めました。
- ・コロナの感染状況により、十字会の各委員会・連絡会を計画通り開催する事ができなかったため、今後オンラインで繋がるようなシステムを整えたいと計画しています。
- ・施設設備においては老朽化が進み、故障してからへの対応となり施設間の連携を図りましたが、ご利用者様にご迷惑をお掛けし、その結果事業活動のマイナスとなりました。

(2) 安全・安心な施設経営

- ・毎月「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催して、全事業所で統一した感染症対策措置を実施し、徹底的な感染対策を行いました。その結果、施設内での大流行を避けることができ、安全・安心な施設経営を継続できました。
 - ・今年も十字会の取組みとして「交通安全 無事故・無違反チャレンジ200日」に18チーム(180名)が参加しました。また、本部では春と秋の全国交通安全週間に伴い朝の交通立哨を実施しました。そして、業務・私用時を問わず、交通安全に対する更なる意識向上に努めました。
 - ・総合防災訓練を年2回、また防災計画に沿って毎月訓練を実施して防災・安全への意識向上を図りました。
- しかし、事業継続計画(BCP)及び避難確保計画についての見直しができず、要援護者の支援体制を整えることができませんでした。

(3) 職員の人材育成及び活力のある職場づくり

- ・職員教育・研修委員会による施設内研修は年2回のみの開催でしたが、ズーム等のオンライン研修に参加し職員の資質向上に取り組みました。